

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 6 月 9 日(2023.6.9)

【公開番号】特開 2022-114162(P2022-114162A)
【公開日】令和 4 年 8 月 5 日(2022.8.5)
【年通号数】公開公報(特許)2022-143
【出願番号】特願 2021-10336(P2021-10336)
【国際特許分類】

G 0 6 F 9/445(2018.01)

10

B 6 0 R 16/02(2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/445

B 6 0 R 16/02 6 6 0 B

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 1 日(2023.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周辺機器(3)にアクセス可能であって車両を利用する際に提供される機能を実行可能な制御部(101)と、

前記制御部と通信可能であって車両を利用する際に提供される機能を実行可能な外部装置(2)が接続される接続部(5)と、

前記外部装置が機能を実行可能な状態で前記接続部に接続されているか否かを判定する判定部(12)と、を備え、

30

前記制御部は、前記外部装置が機能を実行可能な状態で接続されていると判定された場合、前記外部装置を有効化して機能の実行を可能にするとともに、自身が実行可能な機能のうち少なくとも 1 つの機能を停止するとともに、動作中に前記外部装置が機能を実行可能な状態ではなくなったと判定された場合、前記外部装置で実行することにより停止していた自身の機能を実行する車両用装置。

【請求項 2】

周辺機器(3)にアクセス可能であって車両を利用する際に提供される機能を実行可能な制御部(101)と、

前記制御部と通信可能であって車両を利用する際に提供される機能を実行可能な外部装置(2)が接続される接続部(5)と、

40

前記外部装置が機能を実行可能な状態で前記接続部に接続されているか否かを判定する判定部(12)と、を備え、

前記判定部は、前記外部装置が機能を実行可能な状態であるか否かの判定を、車両用装置の動作中に繰り返し行い、

前記制御部は、前記外部装置が機能を実行可能な状態で接続されていると判定された場合、前記外部装置を有効化して機能の実行を可能にするとともに、自身が実行可能な機能のうち少なくとも 1 つの機能を停止する車両用装置。

【請求項 3】

前記制御部は、自身が実行可能な機能のうち、前記外部装置で実行される機能と重複する機能を停止する請求項 1 または 2 記載の車両用装置。

50

【請求項 4】

前記制御部は、前記外部装置で実行される機能を特定し、特定した機能を停止する請求項 1 から 3 のいずれか一項記載の車両用装置。

【請求項 5】

前記制御部は、機能を実現するアプリケーション（9）の動作を停止することによって、当該機能を停止する請求項 1 から 4 のいずれか一項記載の車両用装置。

【請求項 6】

前記制御部は、機能を実現するアプリケーションが実装されているオペレーティングシステム（8）の動作を停止することによって、当該機能を停止する請求項 1 から 5 のいずれか一項記載の車両用装置。

10

20

30

40

50